

学校長あいさつ

鏡が丘特別支援学校ホームページにアクセスいただき、ありがとうございます。

令和7年4月より本校へ赴任いたしました、津波佳和（ツハヨシカズ）と申します、どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、昭和40年4月に沖縄県初の肢体不自由養護学校として開校し、今年度（令和7年度）で、開校60年目となる肢体不自由特別支援学校です。

今年度は、児童生徒数102名が在籍しており、寄宿舎生11名、訪問学級生17名の他、沖縄本島の北は宜野湾市、中城村から南は那覇市に至る、肢体不自由のある児童生徒がスクールバス（2台）、保護者の送迎、移動サービス等を活用して通学しています。

校門から校舎入口にかけて建立された石碑には、校訓である「すこやか」の文字が刻まれており、子どもたち一人一人が日々の学習活動に真摯に取り組む姿や笑顔に、「健やかな成長」への願いが込められています。

朝の玄関口での登校の様子は、子ども達や先生方、登校に係わる方々の笑顔や明るい挨拶に満ちあふれ、これから始まる学校生活に、活気と楽しみを感じる毎日です。本校のめざす児童生徒像として、①健康（明るく元気でたくましく）②主体（考え、自ら学び行動できる）③自律（困難を克服しようと努力する）④自立（最後までねばり強く頑張る）⑤協力（仲良く思いやりがある）の5つを目標に掲げ、児童生徒一人一人が、個性豊かで明るく、たくましく、ねばり強く生きようとする「生きる力」を育成し、自立と社会参加をめざす教育を、全職員一丸となって日々の教育活動に取り組んでいます。

節目を迎えた今年度においては、学校で行う教育活動を拡げ、子ども達の学びを深めるとともに積極的に地域・社会と関わり、開かれた学校を目指して行きたいと考えています。

これからも、本校ホームページを通して、子ども達の健やかな成長を見守り、応援してくださることをお願いすると共に、今後とも本校の教育に一層のご理解とご支援をくださいますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年4月

校長 津波 佳和